

3 すべての人に健康と福祉を

12 つくる責任 つかう責任

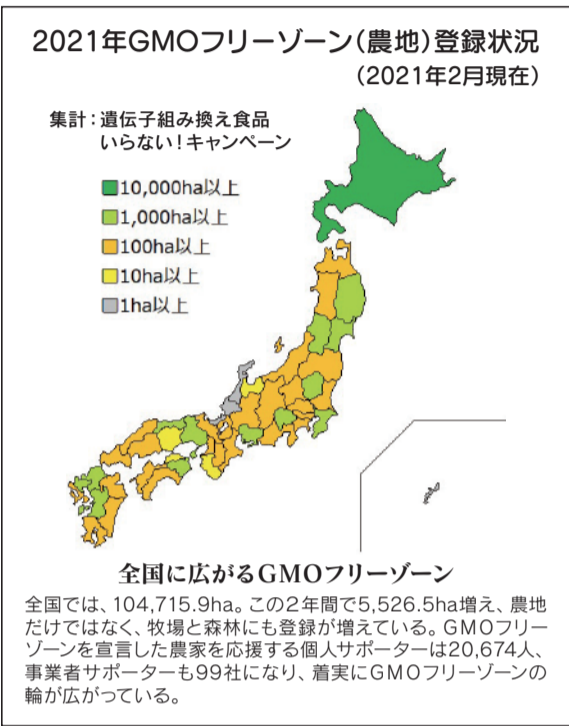
15 豊かさも守ろう

17 パートナリシップで目標を達成しよう

第15回 GMOフリーゾーン 全国交流会 in 滋賀

琵琶湖から発信

-遺伝子組み換えもゲノム編集もいらない-



集会では、GM食品やゲノム編集食品をめぐる現状について、「遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン」代表の天笠啓祐さんによる基調講演がありました。

基調講演後、滋賀県の豊かな自然を次の世代に引き継いでいくため循環型農業に取り組む生産者や、農薬や肥料を使わない自然農法に取り組む生産者などから報告がありました。

グリーンコープ共同体からの報告として、やまぐち理事長の佐々木春代さんが次のように報告しました。

「2020年度の自生GMナタネ汚染調査活動では、234カ所を調査した結果、3検体からラウンドアップ耐性、14検体からバスタ耐性の陽性反応が出ました。陽性反応が出た生協では、GMO反対署名や、GM食品を学校給食に使用しないでほしいという要望を届ける取り組みを行っています。グリーンコープでは、GM食品やゲノム編集食品の表示を求める運動を展開し、食品メーカーに向けて「ゲノム編集食品に関するお問い合わせ」を届けました。

グリーンコープは、食の安全を脅かし、生物多様性を破壊する遺伝子組み換え作物(以下、GMO)に反対し、GMOを栽培しない地域を広げるGMOフリーゾーン運動に取り組んでいます。

今年で15回目となるGMOフリーゾーン全国交流会が、2021年3月19日に滋賀県大津市の会場とオンラインで開催され、全国の同じ志を持つ仲間が集まりました。海外で遺伝子組み換え(以下、GM) 反対運動に取り組む団体もオンラインで参加しました。グリーンコープからは、現地で7人、オンラインで118人が参加しました。

多くの人にゲノム編集技術について知ってもらおうと、全組合員に向けてゲノム編集食品に関するアンケートにも取り組みました。

また、グリーンコープのnon-GMOマークのデザインを組合員から募集し、昨年商標登録が確定しました。生命の糧を育む大地がこれ以上GMOに汚染されないように、そして安心・安全な食べものや環境を未来の子どもたちにつないでいくために、さらに力強く遺伝子組み換え反対運動を進めていきます。



子どもたちの未来のために No.154

グリーンコープでんきをすすめるわけ ~私たちにできること~

原発を子どもたちの未来に残すべきではないことを、グリーンコープはチェルノブイリ原発事故から学び「いのちと原発は共存できない」と運動を続けてきました。

グリーンコープは、脱原発の実現に向けて、原発で発電された電気の使用ゼロを目指して、2012年に一般社団法人グリーンコープでんきを設立し、実験展開を経て2017年4月から、全エリアで「グリーンコープでんき」の供給を始めました。そして、2019年2月からは「原発フリー」を実現しています。

日々の暮らしの中で、まず私たちができること、それは原発由来の電気を使わず、*CO₂排出量ゼロの「グリーンコープでんき」を選ぶことです。そしてあの日、東京電力福島第一原発事故がおこったこと、10年経った今も苦しんでいる人たちがいることを、子どもたちに語り継ぐことが脱原発への意思表示になるのではないのでしょうか。「グリーンコープでんき」を使い、脱原発社会を実現しましょう。

*電気事業者別排出係数一令和元年度実績(環境省・経済産業省公表)

グリーンコープ共同体組織委員会



※1輸送中にこぼれ落ちて自生するGMナタネが交雑し、広範囲にGM汚染が広がることを懸念して、毎年自生GMナタネの調査を行っています

※2GMナタネは、除草剤のラウンドアップやバスタに耐性を持つ

「いま、遺伝子操作食品の世界で何が起きているか?」

講師 遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン代表 天笠啓祐さん

日本でもゲノム編集食品が市場に

世界では遺伝子組み換え技術に代わり、ゲノム編集技術が主流になりつつある。日本では、昨年、筑波大学が開発したGABA高蓄積トマトが、日本初のゲノム編集食品として市場流通が可能になった。このトマトは、農林水産省や厚生労働省に情報提供と届け出が行われただけで、環境影響評価や食品安全審査もされないまま流通することになる。

さらに、厚生労働省の薬事・食品衛生審議会の専門調査会が、「ゲノム編集技術を利用して得られた魚類」の扱いについて審議を開始した。これは、ゲノム編集の「肉厚マダイ」の承認に向けた動きだと考えられる。

※血圧の上昇を抑える働きがあると言われている物質「GABA」を多く含むようにゲノム編集されたトマト

安全とは言い難いゲノム編集食品

ゲノム編集技術は様々な問題が指摘されており、遺伝子操作することは、複雑な生命ネットワークをかき乱すことになる。ゲノム編集技術の問題点とされる、目的以外のDNAを切断してしまうオフターゲットについては、ごく一部しか調べられていない。遺伝子操作した細胞と操作していない細胞が入り乱れるモザイクという状態をもたらすことも懸念される。このように、安全性が確立されたとは言いがたい。厚生労働省の審議会は、「ゲノム編集は遺伝子組

み換えと異なる」としてゲノム編集食品の安全審査を求めている。表示も義務化されていないため、消費者はゲノム編集食品でないものを選ぶことができない。

遺伝子汚染を防ぐため種苗に表示を求めよう

GABA高蓄積トマトの苗は無償で配布されることになっている。苗の提供や栽培が始まると、遺伝子汚染が広がりにかかない。それを防ぐには、生産者や消費者が選べるよう表示が必要だ。「遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン」では、種苗に表示を求める署名活動を開始した。種苗表示が可能になると、食品表示も可能になる。表示の実現に向けて声を上げていこう。

一般社団法人グリーンコープでんきから

ひろがれ! 私たちの発電所

グリーンコープ・グリーン電力出資金 11,418人 1,111,667,000円 (2021年5月17日現在)

「原発の電気ではなく、自然エネルギーでつくった電気を使いたい」という願いをかためるために、グリーンコープ・グリーン電力出資金に協力しましょう

2021年3月の売電量	グリーン未来ソーラー売電量 39,378kWh (定格出力376kW(110世帯相当))
神在太陽光発電所売電量 90,700kWh (定格出力1,057kW(309世帯相当))	若宮物流センター太陽光発電所売電量 4,823kWh (定格出力47kW(14世帯相当))
平池水上太陽光発電所売電量 140,859kWh (定格出力1,260kW(368世帯相当))	広島物流センター太陽光発電所売電量 5,108kWh (定格出力47kW(14世帯相当))
深年太陽光発電所売電量 116,979kWh (定格出力1,550kW(453世帯相当))	グリーンコープやまぐち生協 西部地域本部太陽光発電所売電量 5,621kWh (定格出力54kW(16世帯相当))